



まちがど トピックス



■新成人笑顔の門出！

1月9日、すばるホールで、成人式が開催されました。本市では、1356人の若者が、晴れて成人の日を迎えました。式典では、多田市長が「決して自分を見失わず、将来をしっかりと見据え、素晴らしい人生を切り拓いていってください」と新成人を激励。また、新成人代表が誓いの言葉を述べるなど式典は厳粛に終わりました。その後に開催された交流会では、久しぶりに顔を合わせる同窓生との再会にいたるところで笑顔が見られ、思い出話や近況報告で盛り上がっていました。

※当日撮影した写真を差し上げます。希望される人は2月28日(火)までに青少年センター内生涯学習課へお越しください。

■防災・防火へ意識新たに

1月8日、市消防本部で、新春恒例の消防出初式が開催されました。

当日は、あいにくの雨のため室内での開催となりましたが、昨年防災活動に貢献された消防団員や地域の自主防災組織の皆さんへ感謝状が贈呈されました。

昨年は、大きな災害が相次いだこともあり、参加者は改めて防災や防火に対する意識を高めました。



写真とともに見る12月～1月のできごと



■ 体も心もぽっかぽか

1月9日、富田林寺内町周辺で、じないまち四季物語2017「冬」～新春・初鍋めぐり～が開催されました。当日は、ぼたん鍋や豚汁、ぜんざいなど約20種類の鍋料理が販売され、好みの鍋を求めて開店前からあちらこちらで行列ができていました。

訪れた人たちは、地図を片手にいろいろな種類の鍋を味わったり、情緒ある冬の寺内町を散策したりと体も心も温まった様子でした。

■ 災害救助犬とのふれあい

1月13日、新堂小学校の3年生が「命の授業」の一環として、災害救助犬とふれあいました。

大規模災害発生時などに、救助を待つ人いち早く発見することができるよう訓練された災害救助犬は、8ヶ月前の人のにおいを感知できるともいわれています。当日は、跳び箱の中に隠れた児童を正確に探し当てるなど、その能力の高さを披露し、児童からは拍手とともに、「すごい!」や「賢い!」の声が聞かれました。



■ ^{たか}鷹を華麗に操る技を披露

1月15日、金剛中央グラウンドで、^{たかじょう}鷹匠による実演とふれあい体験が実施されました。これは金剛団地自治会が、昨年11月から鷹による威嚇でハトやカラスを追い払う取り組みを進めていることから企画されたもの。訪れた人たちは、疑似餌を空中でキャッチしたり頭上すれすれを飛んだりする鷹の姿に歓声を上げていました。

また、鷹を手止に止ませる体験や一緒に写真を撮るなど鷹とのふれあいを楽しみました。

■ 国境を越えてのボランティア

12月16日、青年海外協力隊としてグアテマラへ派遣される脇山 美里さん(青葉丘)とモロッコへ派遣されていた福本 直子さん(津々山台)が、市役所を表敬訪問しました。脇山さんは、派遣先での活動予定などを話され、モロッコの民族衣装を着た福本さんは、たくさんの思い出ができたと話されました。多田市長は「海外での経験は、大きな財産となります。これからの活躍を期待しています」と2人を激励しました。

